

記入例 申立人が15歳以上の場合

文字を訂正する場合は、二重線で抹消し、その上に署名(記名)押印欄と同じ印鑑で訂正印を押してください。

子が数人の場合は、全員が各自署名(記名)押印してください。(印鑑は全員別のものを使用してください。)

平日の日中に連絡のつく電話番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

住所は、郵便の届く現住所を記入してください。(建物名や部屋番号も正確に記入してください。)

子の現在の本籍地(「丁目」や「番」等も略さずに記入してください。)

変更を求める子が数人いる場合は、この欄を使用してください。

子が全員15歳以上の場合は、この欄には何も記入しないでください。

受付印		<b>子の氏の変更許可申立書</b>	
収入印紙 円		(この欄に収入印紙を貼る。申立人1人について800円分)	
予納郵便切手 円		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">収入印紙</div> <p>※ 申立人(子)が2人の場合は1,600円分の収入印紙を、3人の場合は2,400円分の収入印紙を貼ります。                  ※ 収入印紙や郵便切手は、裁判所内では販売していないことがありますので注意してください(熊本県内の家庭裁判所では販売していません。)</p> <p style="text-align: right;">(貼った印紙に押印しないでください。)</p>	
準口頭	関連事件番号	平成 年(家 )第 号	
熊本 家庭裁判所 御中		申立人 (15歳未満の場合は法定代理人) の署名押印 又は記名押印	<input type="checkbox"/> 申立人(ら)法定代理人 ( <input type="checkbox"/> 親権者母 <input type="checkbox"/> 親権者父 <input type="checkbox"/> 未成年後見人) 乙野 太郎 <b>乙野</b> 印 乙野 次郎 <b>乙野</b>
添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)		
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人(子)の戸籍謄本 (全部事項証明書)		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 父・母の戸籍謄本 (全部事項証明書)		
申立人	本籍	熊本 都道 〇〇市〇〇区〇〇町一丁目23 番地 4	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( 〇〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇 熊本県〇〇郡〇〇町〇〇二丁目3番地1 〇〇アパート●●号室 ( 方)	
立人(子)	フリガナ	オツノ タロウ	昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳)
	氏名	乙野 太郎	平成 ( 〇〇 歳)
人(子)	本籍	※ (口本籍は)上記申立人と同じ ・1人目の子と本籍は同じで、住所が異なる場合は、□にレ印を付し住所を記入してください。 ・1人目の子と本籍・住所とも同じ場合は、この欄には何も記入しないでください (レ印も不要)。	
	フリガナ	オツノ ジロウ	昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳)
法定代理人	本籍	※ (口本籍は)上記申立人と同じ	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( ) - ( 方)	
父・母 後見人	フリガナ	フリガナ	
	氏名	氏名	

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □に該当する場合は、レ印を付してください。  
 ※の部分には、各申立人の本籍及び住所が異なる場合はそれぞれ記入してください。  
 ☆の部分には、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

申立人(子)が1人の場合は「1」を、2人以上の場合は「2」を○で囲んでください。

父母の離婚によって親子の戸籍が別々となった場合

離婚等の年月日

申 立 て の 趣 旨 (○で囲む。)			
※ 1 申立人 2 申立人ら	子が移動したい先の戸籍 子の現在の名字 移動先の戸籍の名字 (子の現在の名字と同じであっても記入してください。) ① 母 2 父 3 父母 の氏( <b>乙野</b> )を の氏( <b>甲野</b> )に変更することの許可を求める。		
申 立 て の 実 情			
父・母と氏を異にする理由 (○で囲む。)			
※ <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">               ① 父母の離婚                2 父・母の婚姻                3 父・母の養子縁組                4 父・母の養子離             </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">               5 父の認知                6 父(母)死亡後、母(父)の復氏                7 その他 [ 1~6に該当しないときは、「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]             </td> </tr> </table>		① 父母の離婚 2 父・母の婚姻 3 父・母の養子縁組 4 父・母の養子離	5 父の認知 6 父(母)死亡後、母(父)の復氏 7 その他 [ 1~6に該当しないときは、「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]
① 父母の離婚 2 父・母の婚姻 3 父・母の養子縁組 4 父・母の養子離	5 父の認知 6 父(母)死亡後、母(父)の復氏 7 その他 [ 1~6に該当しないときは、「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]		
(その年月日 平成 ○○年 ○○月 ○○日)			
申 立 て の 動 機 (○で囲む。)			
※ <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">               ① 母との同居生活上の支障                3 その他 [ 1または2に該当しないときは、「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]             </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">               2 父との同居生活上の支障             </td> </tr> </table>		① 母との同居生活上の支障 3 その他 [ 1または2に該当しないときは、「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]	2 父との同居生活上の支障
① 母との同居生活上の支障 3 その他 [ 1または2に該当しないときは、「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]	2 父との同居生活上の支障		

(注) 太枠の中だけ記入してください。

※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の「7 その他」及び申立ての動機の「3 その他」を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。

母(または父)と子が同居生活をしているが、戸籍が別々なので支障がある場合

数人の子について、申立ての動機がそれぞれ異なる場合には、子ごとに書き分ける等してその旨を明らかにしてください。

— 以下の欄は裁判所が使用しますので、記入しないでください。 —

裁判所記入欄

受告知者 1 申立人 2 申立人(ら)法定代理人 3	告 知 方 法 1 普通郵便 2 場 所 1 住所 2 平成 年 月 日	<h2 style="margin: 0;">審 判</h2> <p style="font-size: 1.2em; margin: 5px 0;">本件申立てを許可する。</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 5px 0;">手続費用は申立人欄記載の者の負担とする。</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 5px 0;">平成 年 月 日</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 5px 0;">熊本家庭裁判所</p> <p style="font-size: 1.2em; margin: 5px 0;">裁 判 官</p>
裁判所書記官		

記入例 申立人が15歳未満の場合

文字を訂正する場合は、二重線で抹消し、その上に署名(記名)押印欄と同じ印鑑で訂正印を押してください。

受付印		<h2 style="margin: 0;">子の氏の変更許可申立書</h2> <p style="font-size: small;">(この欄に収入印紙を貼る。申立人1人について800円分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;">収入印紙</div> <p>※ 申立人(子)が2人の場合は1,600円分の収入印紙を、3人の場合は2,400円分の収入印紙を貼ります。                  ※ 収入印紙や郵便切手は、裁判所内では販売していないことがありますので注意してください(熊本県内の家庭裁判所では販売していません。)</p> <p style="text-align: right;">(貼った印紙に押印しないでください。)</p>
収入印紙	円	
予納郵便切手	円	

準口頭		関連事件番号 平成	年(家)	第	号
-----	--	-----------	------	---	---

熊本 家庭裁判所 御中  平成〇〇年〇〇月〇日	申立人 (15歳未満の場合は法定代理人)  の署名押印 又は記名押印	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人(ら)法定代理人 ( <input checked="" type="checkbox"/> 親権者母 <input type="checkbox"/> 親権者父 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 )  <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: blue;">甲野花子</div> <div style="text-align: right; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 2px; color: red; font-weight: bold;">甲野</div>
----------------------------------	--	---

添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)	
<input checked="" type="checkbox"/>	申立人(子)の戸籍謄本 (全部事項証明書)	<input checked="" type="checkbox"/> 父・母の戸籍謄本 (全部事項証明書)

申	本籍	熊本 都道 〇〇市〇〇区〇〇町一丁目23 番地 4	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇 熊本県〇〇郡〇〇町〇〇二丁目3番地1 〇〇アパート●●号室 ( 方 )	
立	フリガナ	オツノ タロウ	昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳 )
	氏名	乙野 太郎	平成 ( 〇〇 歳 )
人	本籍	※ (口本籍は) 上記申立人と同じ ・1人目の子と本籍は同じで、住所が異なる場合は、□にレ印を付し住所を記入してください。 ・1人目の子と本籍・住所とも同じ場合は、この欄には何も記入しないでください (レ印も不要)。	
	フリガナ	オツノ ジロウ	昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳 )
(子)	本籍	※ (口本籍は) 上記申立人と同じ	
	フリガナ		昭和 年 月 日生 ( 歳 )
☆	本籍	熊本 都道 〇〇市〇〇町678 番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 ※ 上記申立人と同じ ・子と同居していない場合は、「上記申立人と同じ」を二重線で消して訂正印を押し、現住所を記入してください (郵便が届くように正確に記入してください。) ・子と住所が同じ(同居している)場合は、この欄には電話番号のみ記入してください。 ( 方 )	
法定代理人	フリガナ	コウノ ハナコ	フリガナ
	氏名	甲野 花子	氏名

子の現在の本籍地 (「丁目」や「番」等も略さずに記入してください。)

変更を求める子が数人いる場合は、この欄を使用してください。

親権者等は、この欄に記入してください。(本籍地は、「丁目」や「番地」も省略せずにお書きください。)

住所は、郵便の届く現住所を記入してください。(建物名や部屋番号も正確に記入してください。)

平日の日中に連絡のつく電話番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □に該当する場合は、レ印を付してください。  
 ※の部分、各申立人の本籍及び住所が異なる場合はそれぞれ記入してください。  
 ☆の部分、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

申立人(子)が1人の場合は「1」を、2人以上の場合は「2」を○で囲んでください。

父母の離婚によって親子の戸籍が別々となった場合

離婚等の年月日

申 立 て の 趣 旨 (○で囲む。)			
<p>※</p> <p>1 申立人</p> <p>2 申立人ら</p>	<p style="text-align: center;">子が移動したい先の戸籍</p> <p style="text-align: center;">移動先の戸籍の名字 (子の現在の名字と同じであっても記入してください。)</p> <p style="text-align: center;">子の現在の名字</p> <p>① 母 の氏 ( 乙 野 ) を</p> <p>2 父 の氏 ( 甲 野 ) に変更することの許可を求める。</p> <p>3 父母</p>		
申 立 て の 実 情			
父・母と氏を異にする理由 (○で囲む。)			
<p>※</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>① 父 母 の 離 婚</p> <p>2 父 ・ 母 の 婚 姻</p> <p>3 父 ・ 母 の 養 子 縁 組</p> <p>4 父 ・ 母 の 養 子 離</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>5 父 の 認 知</p> <p>6 父 (母) 死亡後, 母 (父) の復氏</p> <p>7 その他 [ 1~6に該当しないときは、「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]</p> </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(その年月日 平成 ○○ 年 ○○ 月 ○○ 日)</p>		<p>① 父 母 の 離 婚</p> <p>2 父 ・ 母 の 婚 姻</p> <p>3 父 ・ 母 の 養 子 縁 組</p> <p>4 父 ・ 母 の 養 子 離</p>	<p>5 父 の 認 知</p> <p>6 父 (母) 死亡後, 母 (父) の復氏</p> <p>7 その他 [ 1~6に該当しないときは、「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]</p>
<p>① 父 母 の 離 婚</p> <p>2 父 ・ 母 の 婚 姻</p> <p>3 父 ・ 母 の 養 子 縁 組</p> <p>4 父 ・ 母 の 養 子 離</p>	<p>5 父 の 認 知</p> <p>6 父 (母) 死亡後, 母 (父) の復氏</p> <p>7 その他 [ 1~6に該当しないときは、「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]</p>		
申 立 て の 動 機 (○で囲む。)			
<p>※</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>① 母との同居生活上の支障</p> <p>3 その他 [ 1または2に該当しないときは、「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>2 父との同居生活上の支障</p> </td> </tr> </table>		<p>① 母との同居生活上の支障</p> <p>3 その他 [ 1または2に該当しないときは、「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]</p>	<p>2 父との同居生活上の支障</p>
<p>① 母との同居生活上の支障</p> <p>3 その他 [ 1または2に該当しないときは、「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]</p>	<p>2 父との同居生活上の支障</p>		

(注) 太枠の中だけ記入してください。

※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の「7 その他」及び申立ての動機の「3 その他」を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。

母(または父)と子が同居生活をしているが、戸籍が別々なので支障がある場合

数人の子について、申立ての動機がそれぞれ異なる場合には、子ごとに書き分ける等してその旨を明らかにしてください。

— 以下の欄は裁判所が使用しますので、記入しないでください。 —

裁判所記入欄

<p>受告知者</p> <p>1 申立人</p> <p>2 申立人(ら)法定代理人</p> <p>3</p>	<p>方 法</p> <p>1 普通郵便</p> <p>2</p>	<p>場 所</p> <p>1 住所</p> <p>2</p>	<p>平成 年 月 日</p>	<p style="font-size: 2em;">審 判</p> <p>本件申立てを許可する。</p> <p>手続費用は申立人欄記載の者の負担とする。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p>熊 本 家 庭 裁 判 所</p> <p>裁 判 官</p>
裁判所書記官				

記入例 申立人が15歳以上と15歳未満の場合

文字を訂正する場合は、二重線で抹消し、その上に署名(記名)押印欄と同じ印鑑で訂正印を押してください。

子が数人の場合は、全員が各自署名(記名)押印してください。(印鑑は全員別のもを使用してください。)

住所は、郵便の届く現住所を記入してください。(建物名や部屋番号も正確に記入してください。)

平日の日中に連絡のつく電話番号を記入してください。(携帯電話でも構いません。)

子の氏の変更許可申立書

(この欄に収入印紙を貼る。申立人1人について800円分)



※ 申立人(子)が2人の場合は1,600円分の収入印紙を、3人の場合は2,400円分の収入印紙を貼ります。  
 ※ 収入印紙や郵便切手は、裁判所内では販売していないことがありますので注意してください(熊本県内の家庭裁判所では販売していません。)

(貼った印紙に押印しないでください。)

受付印	
収入印紙	円
予納郵便切手	円

準口頭	関連事件番号	平成	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

熊本 家庭裁判所 御中	申立人 (15歳未満の場合は 法定代理人) の署名押印 又は記名押印	<input checked="" type="checkbox"/> 申立人(子)の法定代理人 ( <input type="checkbox"/> 親権者母 <input type="checkbox"/> 親権者父 <input type="checkbox"/> 未成年後見人 )
		甲野 花子 (甲野) 乙野 太郎 (乙野) 乙野 次郎 (乙野)
平成〇〇年〇〇月〇〇日		印

添付書類	(同じ書類は1通で足りません。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)
<input checked="" type="checkbox"/> 申立人(子)の戸籍謄本 (全部事項証明書)	<input checked="" type="checkbox"/> 父・母の戸籍謄本 (全部事項証明書)

申	本籍	熊本 都道 〇〇市〇〇区〇〇町一丁目23 番地 4
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( 〇〇〇 ) 〇〇 - 〇〇〇〇 熊本県〇〇郡〇〇町〇〇二丁目3番地1 〇〇アパート●●号室 ( 方 )
立	フリガナ	オツノ タロウ 昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳 )
	氏名	乙野 太郎 平成 ( 〇〇 歳 )
人	本籍所	※ (口本籍は) 上記申立人と同じ ・1人目の子と本籍は同じで、住所が異なる場合は、□にレ印を付し住所を記入してください。 ・1人目の子と本籍・住所とも同じ場合は、この欄には何も記入しないでください (レ印も不要)。
	フリガナ	オツノ ジロウ 昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳 )
(子)	氏名	乙野 次郎 平成 ( 〇〇 歳 )
	本籍所	※ (口本籍は) 上記申立人と同じ 熊本県〇〇市〇〇5丁目7番89 〇〇コーポ●●号室
☆	フリガナ	オツノ サブロウ 昭和 〇年 〇〇月 〇〇日生 ( 〇〇 歳 )
	氏名	乙野 三郎 平成 ( 〇〇 歳 )
法定代理人	本籍	熊本 都道 〇〇市〇〇町678 番地
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇 電話 ( 〇〇〇 ) 〇〇〇 - 〇〇〇〇 ※ 上記申立人と同じ ・子と同居していない場合は、「上記申立人と同じ」を二重線で消して訂正印を押し、現住所を記入してください (郵便が届くように正確に記入してください。)。 ( 方 )
父 後見人	フリガナ	コウノ ハナコ
	氏名	甲野 花子 氏名

子の現在の本籍地 (「丁目」や「番」等も略さずに記入してください。)

変更を求める子が数人いる場合は、この欄を使用してください。

親権者等は、この欄に記入してください。(本籍地は、「丁目」や「番地」も省略せずにお書きください。)

(注) 太枠の中だけ記入してください。 □に該当する場合は、レ印を付してください。  
 ※の部分、各申立人の本籍及び住所が異なる場合はそれぞれ記入してください。  
 ☆の部分、申立人が15歳未満の場合に記入してください。

申立人(子)が1人の場合は「1」を、  
2人以上の場合は「2」を○で囲んでください。

父母の離婚によって親子の  
戸籍が別々となった場合

子が移動したい先の戸籍

子の現在の名字

移動先の戸籍の名字  
(子の現在の名字と同じであっても記入してください。)

申 立 て の 趣 旨 (○で囲む。)	
※	<p>1 申立人 <input checked="" type="radio"/> 母</p> <p>の氏 ( <b>乙野</b> ) を <input checked="" type="radio"/> 父 の氏 ( <b>甲野</b> ) に変更することの許可を求める。</p> <p><input checked="" type="radio"/> 申立人ら <input type="radio"/> 父母</p>

申 立 て の 実 情	
父・母と氏を異にする理由 (○で囲む。)	
※	<p><input checked="" type="radio"/> 1 父母の離婚</p> <p><input type="radio"/> 2 父・母の婚姻</p> <p><input type="radio"/> 3 父・母の養子縁組</p> <p><input type="radio"/> 4 父・母の養子離</p> <p><input type="radio"/> 5 父の認知</p> <p><input type="radio"/> 6 父(母)死亡後, 母(父)の復氏</p> <p><input type="radio"/> 7 その他 [ 1~6に該当しないときは, 「7」を○で囲んでこの欄に簡単に記入してください。 ]</p> <p>(その年月日 平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日)</p>

離婚等の年月日

申 立 て の 動 機 (○で囲む。)	
※	<p><input checked="" type="radio"/> 1 母との同居生活上の支障</p> <p><input type="radio"/> 2 父との同居生活上の支障</p> <p><input type="radio"/> 3 その他 [ 1または2に該当しないときは, 「3」を○で囲んでこの欄に具体的な理由を記入してください。 ]</p>

(注) 太枠の中だけ記入してください。

※の部分は、当てはまる番号を○で囲み、父・母と氏を異にする理由の「7 その他」及び申立ての動機の「3 その他」を選んだ場合には、( )内に具体的に記入してください。

母(または父)と子が同居生活をしているが、戸籍が別々なので支障がある場合

数人の子について、申立ての動機がそれぞれ異なる場合には、子ごとに書き分ける等してその旨を明らかにしてください。

— 以下の欄は裁判所が使用しますので、記入しないでください。 —

裁判所記入欄

受告知者	1 申立人 2 申立人(ら)法定代理人 3	<p style="text-align: center;">審 判</p> <p>本件申立てを許可する。</p> <p>手続費用は申立人欄記載の者の負担とする。</p> <p>平成 年 月 日</p> <p style="text-align: center;">熊本家庭裁判所 裁判官</p>	
告知	方法		1 普通郵便 2
	場所		1 住所 2
裁判所書記官	平成 年 月 日		